

かぐらおか

(題字は初代学長 山田守英氏)

第 142 号

平成22年 9月30日

編集 旭川医科大学
発行 教務部学生支援課



秋 (カミホロカメットク)

(写真撮影：学生支援課)

卒業生の動向 (医 学 科)	2	音楽の夕べ	8
卒業生の動向 (看護学科)	3	ぬいぐるみ病院	9
医大祭2010が開催されました	4	平成22年度解剖体慰霊式	9
医大祭2010を終えて	佐藤みちる 5	訃 報	10
北海道地区大学体育大会が開催されました	6	教員の異動	10
サマーコンサート	7	インフォメーション	10
体育大会が行われました	7		

卒業生の動向(医学科)

平成22年3月25日(水)に本学を卒業した学生の進路状況は次のとおりです。

なお、個人情報保護法関連法律等の関係で氏名は掲載していません。

(学生支援課)

区 分		大学及び病院名等	平成21年度		
			男	女	計
進 学	道 内		0	0	0
	道 外 その他		0	0	0
	小 計		0	0	0
就 職	道 内	旭川医科大学病院	18	11	29
		北海道大学病院	1	0	1
		旭川厚生病院	1	3	4
		KKR札幌医療センター	1	3	4
		その他	14	7	21
	計		35	24	59
	道 外	大学関係病院	6	1	7
		上記以外の病院等	9	8	17
	計		15	9	24
	小 計		50	33	83
未 定 ・ そ の 他			9	4	13
合 計			59	37	96

上記以外の病院名

道 内：遠軽厚生病院、帯広厚生病院、北海道社会保険病院、道北病院、市立旭川病院、道北勤医協一条通病院、留萌市立病院、江別市立病院、滝川市立病院、旭川赤十字病院、名寄市立総合病院、NTT東日本札幌病院、砂川市立病院、天使病院

道 外：京都大学医学部附属病院、名古屋大学附属病院、千葉大学附属病院、自治医科大学附属病院、横浜市立大学市民総合医療センター、大阪大学附属病院、筑波大学附属病院、京都桂病院、淀川キリスト教病院、宇治徳州会病院、長岡中央総合病院、大阪警察病院、一宮市立市民病院、大阪市立総合医療センター、神鋼加古川病院、南部徳州会病院、国立国際医療センター、虎ノ門病院、市立島田市民病院、ハートライフ病院、東京都済生会中央病院、沖縄協同病院、NTT東日本関東病院

卒業生の動向(看護学科)

平成22年3月25日(水)に本学を卒業した学生の進路状況は次のとおりです。

なお、個人情報保護法関連法律等の関係で氏名は掲載しておりません。

(学生支援課)

区 分		大学及び病院名等	平成21年度		
			男	女	計
進 学	道 内		0	2	2
	道外その他		0	0	0
	小 計		0	2	2
就 職	道 内	旭川医科大学病院	4	16	20
		北海道大学病院	0	4	4
		札幌厚生病院	0	3	3
		市立札幌病院	0	2	2
		その他	4	20	24
	計		8	45	53
	道 外	大学関係病院	0	6	6
		上記以外の病院等	2	4	6
		計	2	10	12
	小 計		10	55	65
未 定 ・ そ の 他			0	1	1
合 計			10	58	68

上記以外の病院名

道 内：森産科婦人科病院、帯広厚生病院、KKR札幌医療センター、旭川赤十字病院、北海道医療センター、釧路労災病院、手稲溪仁会病院、帯広北斗病院、東小樽病院、緑が丘クリニック、旭川市役所、芦別市役所、幕別町役場、天塩町役場、岩内町役場、沼田町役場、中標津町役場、中札内村役場

道 外：東海大学附属病院、慈恵会医科大学青戸病院、日本医科大学附属病院、新東京病院、横須加共済病院、静岡ガンセンター、埼玉三郷中央総合病院、谷津保健病院、立川相互病院

医大祭2010が開催されました

本年も、6月11日（金）、12日（土）、13日（日）の3日間の日程で学生主催の一大イベントである「医大祭2010」が開催されました。

本年のテーマは「旭ism(きょくいずむ)～旭医はまだ本気を出していない～」でした。このテーマは、旭医(旭川医科大学)とism(～主義)を架けた造語で、旭医主義という意味のテーマということであり、旭川らしさ、医科大学らしさを出したお祭りになりたいという思いを込めたテーマでした。

6月11日(金)は、一般公開に向けた準備と前夜祭という名の学生だけの医大祭が開催され、夜遅くまで趣向を凝らした準備や模擬店のメニューの味見で盛り上がっていました。

一般公開の第一日目である12日(土)は、朝から快晴となり9時00分の開場時点で沢山の皆様が、フリーマーケットに来場され盛んに賑わっておりました。10時00分より看護学科棟大講義室を会場として開催されました講演会には、旭川を代表する観光地である旭山動物園の坂東園長を講演者としてお招きし、多数の方が来場され盛況のうちに終了しました。また、大学病院玄関ロビーにて開催されました室内合奏団のコンサートを聴きにいられた方々が医大祭の会場へ足を運ばれた姿を見かけた時には、コンサートがとても良い医大祭への案内になっていると感じました。医学健康ひろばでは例年どおり健康チェックコーナー、体験コーナー、救命救急講習などが行われ、模擬店には老若男女沢山の来場があり、混み合って会場内を移動するのが

大変な時間帯もあったようでした。大人気のゲームコーナーでは、輪投げやビンゴ大会に沢山の小さなお客様が大きな声でゲームに参加して大変楽しんでいただけたようです。19時45分からは恒例の花火が打ち上げられ、祭りの夜の一時を華やかに飾ってくれました。

一般公開の第二日目であり最終日である13日(日)も前日と同様に朝から快晴となり9時00分の開場を待っていたかの様に医学健康ひろば、模擬店、ゲームコーナーに大勢の方が来場されました。

学生食堂で行われたプラスアンサンブル、合唱部のコンサートにも沢山の聴衆が来られ音楽による医大祭を楽しまれたようです。また、第7講義室にて開催されました公開講座では、救急医学講座の藤田 智准教授(当時)により「ドクターヘリで患者を救え！ー救急医療を考えるー」と題しました講演が行われ医科大学ならではのイベントとして好評を得たことは言うまでもありません。また、午後から体育館にてハライチ、Wコロソ、ゴー☆ジャス、流れ星の4組の芸人による「爆笑!! お笑いLIVE2010」が開催され沢山の来場者を笑いの渦に巻き込んだことと思います(…たぶん?)。

ここ数年の開催と違い、一般公開日は両日とも快晴で土曜日は28.7℃、日曜日は29.6℃という暑い夏の始まりを予感させる気温となり実行委員会をはじめスタッフ全員が「本気を出して」の運営に努め大成功のうちに終了したことをお伝えします。



▲ こちら、受付です



▲ フリーマーケット



▲ 古本市



▲ 模擬店1



▲ 模擬店2



▲ 模擬店3



▲ 模擬店4



▲ 輪投げ(ゲームコーナー)



▲ 体験コーナー



▲ 救命救急講習

医大祭2010を終えて

旭川医科大学大学祭実行委員会 実行委員長 佐藤 みちる



こんにちは。お久しぶりです。医大祭が終わってから、早三ヶ月が過ぎ、2010年度医大祭も良い思い出となりつつあります。

今年の医大祭は、皆様のおかげで、パンフレットがなくなってしまうくらいの大盛況となりました。天候にも恵まれ、各種企画・運営もスムーズに進み、ご来場頂いた方々にも楽しんでいただけたのではないかと思います。

私自身、委員長としての素質があったのかどうかと言われたら、今でもよくわかりません。最初から最後まで不安でいっぱいでした。特に、人員集めに苦戦した時、「このまま人が集まらなくて、医大祭が出来ないなんてことになったら、私のせいだ。」とか「もっと人望のある人がやっていれば、もっと楽に人が集まったんだろうな」と思って、泣きそうになったこともありました。準備中は、落ちこむようなことが多く、慢性的に気分が落ちていましたが、同学年の執行部やチーフ、委員の頑張っている姿に励まされたり、部活の後輩に助けられたりしたおかげで、頑張ることができました。不甲斐ない委員長でしたが、たくさんの人に支えられ、なんとか乗り切ることができました。

私はこの医大祭を通して、学んだことがたくさんあります。なので、医大祭も教育の一環として継続してほしいと考えています。そう考える理由を述べる前に、スタンフォード大学アントレプレナー・センターのティナ・シーリーグさんの言葉を紹介したいと思います。

(中略) 学校では、相対評価されます。相対評価とは、試験に出る内容だけでなく、クラスメートとくらべた出来を気にしなくてはいけないことを意味します。これは、助け合おうという気をなくす大きな理由になっています。こうした環境にずっといると、よきチーム・プレイヤーであるためにはどうすればいいのか、わからなくなってしまう。

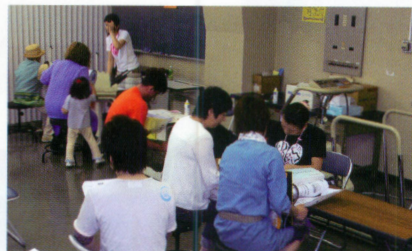
世の中では、ほぼすべてのことがチーム単位で進められています。自分以外の人たちを成功させる術を知らない人たちは、著しく不利になります。最高のチーム・プレイヤーは、他人を成功させるために労を惜しまないものです。実は、組織内で地位が上がるほど、個人としての貢献は重要でなくなります。その代わりに、下の人たちを引っ張り、奮い立たせ、やる気を引き出すことが役目になります。アイデアを思いついても、それを実行に移してくれるのは、その役割を担った同僚です。このため、他人と協調できなければ、実行力は限られてきます。優れたチーム・プレイヤーは、各メンバーが何でやる気になるかを知っていて、各人が成功する方法を見つけようとします。さらに偉大なリーダーは、各人が長所を活かせる方法を見つけだしています。

私が重要だと思う点は、学校において重要だったことと、これから世の中に出てから重要なことが違う点です。違うといっても、学校で得られる知識や個人の能力はもちろん重要です。それが全てじゃないという意味です。将来、メディカル・チームの一員として医師・看護師の役割を全うするためには、協調性・人間性を磨くことは必須であり、医大祭はその良い練習場面になると思います。人と人との関わり合いの中で、失敗してしまうことはよくあります。大事なことは、失敗して学ぶことだと思います。学生のうちにそのプロセスを踏むことはとても重要です。なので、医大祭はこれからも続いて欲しいし、「医大祭面倒くさいな」と思っている生徒の方には、是非面倒くさがらずに参加してみたいと思います。

最後となってしまいましたが、今、私が何よりも伝えたいのは、感謝の気持ちです。執行部、チーフ、委員、ヘルパーの学生の方はもちろん、学生支援課の方、広告掲載・協賛にご協力頂いた方、ご来場頂いた方…、2010年度医大祭に携わって頂いた全ての方に、声を大にして、心より感謝の意を伝えたいと思います。本当にありがとうございました!!!



▲ 医学健康広場



▲ 健康チェックコーナー



▲ 体験コーナー



▲ 景品ゲットだぜ～



▲ 模擬店

北海道地区大学体育大会が開催されました

7月16日（金）、17日（土）、18日（日）の3日間の日程で第57回（平成22年度）北海道地区大学体育大会バスケットボール大会が本学を分担種目担当大学として開催されました。バスケットボールの担当は本年で3年目を迎え運営を担当する学生団体である男女バスケットボール部員も手馴れた運営で大きなトラブルも無く無事に大会を終了しました。なお、大会の結果としましては、右表のとおりとなりましたので報告いたします。

本学の男子バスケットボール部が大会の準備や運営に時間を要したにも関わらず、第3位という成績を修めたことは日頃の練習の賜物であり、他の大学にて開催されましたその他の競技におきましても、準硬式野球第3位、サッ

カー準優勝、バドミントン女子準優勝、柔道第3位という本学の目覚ましい活躍が報告されております。

男 子	優 勝	酪農学園大学
	準優勝	北海道教育大学旭川校
	第3位	北海道教育大学函館校
	第3位	旭川医科大学
女 子	優 勝	北海道教育大学旭川校
	準優勝	北星学園大学
	第3位	帯広畜産大学
	第3位	酪農学園大学

バスケットボール



▲ 表彰式(男子)



▲ 表彰式(女子)

音楽系学生団体大学病院玄関ロビー コンサート

ギター部サマーコンサート

平成22年7月10日（土）16時00分より大学病院玄関ロビーを会場としてギター部のサマー・コンサートが開催されました。当日は、土曜日の夕方に来場された方々も多くはありませんが、その分、手拍子、拍手で演奏を盛り上げていただき、終了時にはアンコールの声が掛かるほどで、盛況のうちに終了しました。



合唱部サマーコンサート

平成22年7月17日（土）14時00分より大学病院玄関ロビーを会場として毎年恒例の合唱部のサマー・コンサートが開催されました。当日は、北海道地区大学体育大会と重なり会場に足を運ぶことができませんでしたが、写真を入手しましたので掲載します。



体育大会が行われました

夏休みが終わったのに暑い夏がなかなか終わらない9月2日（木）に学生会が主催する体育大会が行われました。今年の大会も例年と同様にバスケットボール、バレーボール、ソフトボール、サッカーの4種目が企画されました。

体育館で行われた、バスケットボール、バレーボールは、残暑厳しい中、汗だくになりながらも日頃の運動不足やストレスを解消するかのような熱戦が繰り広げられ

ました。

屋外において行われたソフトボール、サッカーは快晴の中、普段なかなか運動をする機会の少ない学生も慣れない競技に戸惑いながら一生懸命プレーする姿に日々の勉強や前期試験週に挑む意気込みを感じました。

また、競技終了後に学生食堂で行われた交流会では日頃話をする機会の少ない学生同士が交流を深めていた姿が印象に残りました。



▲ソフトボール



▲サッカー



▲バレーボール



▲バスケットボール

音楽系学生団体合同コンサート「音楽の夕べ」が開催されました

平成22年7月24日（土）13時00分より大学病院玄関ロビーを会場として本学の音楽系学生団体5団体によります合同コンサート「音楽の夕べ」が開催されました。このコンサートは例年、夏休み前の土曜日に「ギター部」「室内合奏団」「合唱部」「プラスアンサンブル」の音楽系4団体が行っていたものですが、昨年より「JAZZ研究会」が参加し5団体の合同コンサートとして開催しております。各団体の持ち時間が約30分という短い時間ではありますが、本年も各団体が趣向を凝らした選曲と演出により来場された皆様には楽しんでいただけたようです。特にギター部の「天城越え」では、各団体からの精

鋭によります合奏演目となり沢山の拍手喝采を浴びていました。

▼ 会場風景



▲ ギター部



▲ ギター部



▲ 天城越え



▲ JAZZ研究会



▲ JAZZ研究会



▲ 合唱部



▲ 合唱部



▲ 室内合奏団



▲ 室内合奏団



▲ プラスアンサンブル



▲ プラスアンサンブル

ぬいぐるみ病院

平成22年9月2日（木）9時00分から「みどりの保育園」におきまして本学の学生団体である「IFMSA 旭川～えみふる～」のメンバーによります「ぬいぐるみ病院」が開催されました。

当日は、紙芝居や子供達とのダンスで仲良しになり、そのあと、ぬいぐるみを患者さんに見立てての病院が

開院しました。

ぬいぐるみ病院では受付・診察・レントゲン・お薬といった役を学生が演じて、子供達が、ぬいぐるみの保護者役になって、いろいろな医療の現場を疑似体験して「チヨーシンキ」「れんとげん」といった言葉を覚えていく微笑ましい姿が大変印象に残りました。



平成22年度解剖体慰霊式

平成22年度解剖体慰霊式が9月15（水）午後1時30分より本学体育館において執り行われました。

慰霊式においては、本学学生等の教育及び学術研究用に尊い御遺体を提供され、医学発展の礎石となられた方々の精霊の御霊に対して、ご冥福をお祈りするために黙とうが捧げられ、引き続き吉田学長と学生代表（医学科第3学年大屋明希子）から追悼の辞が述べられました。

その後、御遺族と御来賓の方々並びに教職員、学生の代表からの献花が捧げられ、亡くなられた方々の御遺徳を偲びご冥福を祈念しました。

追悼の辞

学長 吉田 晃 敏
学生代表 医学科3年 大屋 明希子

献花

学長 吉田 晃 敏
学生代表 医学科3年 大屋 明希子
医学科3年 小田 虎 賢
看護学科2年 伊藤 沙弥香
看護学科2年 嵐 絵 理

謝 辞

学長補佐 教授 吉田 成 孝
解剖学講座（機能形態学分野）



▲吉田学長による追悼の辞



▲学生代表による追悼の辞



▲献花を捧げる吉田学長

訃報



本学名誉教授野村紀子氏（享年71才）には、平成22年6月17日（木）逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、平成7年3月16日日本学看護学科教授に就任

され、看護学科の礎を築かれました。

平成18年3月31日定年により退職、同年4月1日本学名誉教授の称号を授与されました。

この間、永年にわたって、学生の教育・指導及び研究にあたられ、看護学の発展並びに優秀な看護師及び助産師の養成にご尽力をされ、本学の発展に多大な貢献をなされました。

また、学術研究面では母子看護学を専門とされ、その優れた功績は高く評価されております。

（総務課）

教員の異動

H22.6.1	昇任	医学部	地域医療教育学講座	准教授	野津司
H22.7.1	昇任	医学部	眼科学講座	准教授	籠川浩幸
H22.8.1	昇任	病院	第二外科	講師	海老澤良昭
H22.9.9	昇任	医学部	救急医学講座	教授	藤田智
H22.9.9	昇任	医学部	脳機能医工学研究センター	教授	高草木薫
H22.9.9	昇任	病院	第一外科	講師	内田恒
H22.9.9	昇任	病院	第一外科	講師	宮本和俊
H22.9.9	昇任	病院	整形外科	講師	研谷智

インフォメーション

本学の行事予定（10月～3月）

平成22年10月1日 医学科第2年次後期編入生入学式

コンサート	平成22年10月11日	プラスアンサンプル「OB演奏会」(学生食堂)
	11月3日	JAZZ研究会「JAZZのタベ」(大学病院)
	11月6日	室内合奏団「オータムコンサート」(大学病院)
	12月予定	音楽系学生団体クリスマスコンサート(大学病院)
	平成23年1月予定	ギター部「ニューイヤーコンサート」(大学病院)

平成22年11月5日 本学記念日

冬季休業	医学科	1年・2年	(12月20日～1月11日)
	医学科	3年・4年	(12月20日～1月4日)
	医学科	5年	(12月20日～1月3日)
	看護学科	1年・2年	(12月20日～1月11日)
	看護学科	3年・4年	(12月20日～1月7日)

後期試験週	医学科	1年・2年	(2月14日～2月25日)
	医学科	3年	(2月7日～2月25日)
	医学科	4年	(1月25日～1月28日)
	看護学科	1年・2年	(2月14日～2月25日)
	看護学科	3年	(2月7日～2月25日)

平成23年3月25日 学位記授与式